

ブルンジ月報（２０２２年３、４月）

1. 内政・外政

3月

- 9日、ルワンダが2年振りに国境を再開するも、ブルンジ国境はブルンジ側の対応に合わせて対象外。ブルンジは、2015年の政権転覆未遂に関与したルワンダに逃亡中の容疑者の引き渡しを要求している。(RNA)
- 9日、ブルンジ警察が、ルワンダ国境のルウェル湖でルワンダ軍関係者がブルンジ人漁師2名を捕え殴打したとして非難。(SOS Medias)
- 15日、ンダイシミエ大統領が、ブルンジを訪問したムラシラ・ルワンダ国防大臣と面談し、両国の国交正常化について協議。同日、ニビギラ (S.E. Amb. Ezéchiel Nibigira) 東アフリカ共同体・青年・スポーツ・文化大臣はルワンダでカガメ大統領と面談。(RNA)
- 17日、ンダイシミエ大統領が、キガリ司教でもあるカムバンダ枢機卿 (Cardinal Antoine Kambanda) と面談。同枢機卿は、ルワンダ及びブルンジのカソリック司教による会合 ACOREB に参加。(RNA)
- 28日、ンダイシミエ大統領が、翌29日の首脳会合で東アフリカ共同体 (EAC) の議長に就任。ブルンジが議長国となるのは、ンクルンジザ前大統領が議長を務めた2010-2011年以来。(The Citizen)
- 31日、ブルンジの国家通信評議会 (CNC) が、BBCの放送再開を発表 (30日)。CNCは、BBCと米国VOAの放送を「報道を規定する法律と倫理に違反する」として2018年5月から停止し、さらに2019年には、BBCの営業許可を取り下げていた。CNC会長は、ンダイシミエ大統領が昨年1月に「制裁下にあるメディアとの問題解決のために議論すべき」と発言したのを受け、議論を続けた結果、提示された条件をBBCが守ることが確認されたと本決定の背景を説明した。VOAについては放送停止の解除に至っていない。(RFI、VOA)

4月

- 21日、ンダイシミエ大統領がナイロビで開催されたコンゴ（民）に係る地域首脳会議に参加。(The East African)

3. 経済

3月

- 24日、ブルンジ政府は、ニッケル及び関連鉱石の150億米ドルの鉱業権を「East African Region Project Group」社に付与。

以上